

提出期限：令和7年3月21日(金)

令和 7 年 3 月 25 日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	中西 淑美	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名 Mediation Café♪ 協働対話教育研究所 (山形大学医学部総合医学教育講座 中西研究室)	
	氏名	所属
	中西 淑美	山形大学医学部 総合医学教育センター
	笹木 明美他	山形県医療ADR学術研究会参加施設55施設とその会員
	杉山 義法	山形県酒田市役所 学校教育課 主査
	成田 雪美	医療法人 運忠会 土崎病院 (看護部長)
活動名	尊重・協働の対話推進者の人材育成-市民と創る協働対話	
連携して活動を行った プラットフォーム加盟機関名	山形県医師会 (https://www.yamagata.med.or.jp/) 山形県医療ADR学術研究会 (https://www.adr-yamagata.com/) Mediation Café♪ (https://www.mediatin-cafe.com/) 酒田市公益活動団体、山形県酒田市役所	
活動報告	《活動内容》 当初予定した計画に則り、2024年度の協働対話の会を毎月1-2回計画を策定し実施した。1. 対象と開催：コアメンバー9人の他、自由意志による参加とし、平均9名の参加による対話の会を、仕事の終わった19時-20時30分で開催した。その他に、医療相談や事例検討の協働対話の会では毎月約80名以上の参加があった。また、1月24日(金)は、酒田市公益活動団体との協働事業で、酒田市立富士見小学校 2階で小学生にRJサークル(修復的正義による対話)にも参加実施した。子どもたちには折り紙や言葉カードを使って実践した。 2. 内容：4-5月は、「ハラスメントでの対話」、6-7月は「個々のナラティブを聴く」、8-9月は「ACP(命を考える)」、10-11、1月は、「RJ(修復的正義)で対話」、2、3月は「Mediation Talk(協働対話)で意思決定」を開催した。参加者は平均9名で地域と人を紡ぐ対話で盛況であった。 3. 山形県医師会からの共催の許諾を受け、また山形大学医学部のADR学術研究会ともタイアップして、医療メディエーションによる協働対話の会Mediation Café♪のHPで相談業務を開始した。これまでの医学部と医学部以外での地域貢献、社会貢献の業績に11月19日山形大学学長賞を授与された。 4. 1月24日(金)、酒田市立富士見小学校1年生と2年生に、山形県酒田市役所の杉山さんのご尽力で、尊重・多様性・人と異なることの多価値について学び合いの場をもつことができた(写真参照)。 《実施した効果》継続的な取り組みのため、【医療メディエーション(協働対話)の特徴】を理解するだけでなく、人と自分を大切にすること、傷を害にしないこと、相手を尊重し、①双方向の対話過程をもつ②関心やコンフリクト(認知の違い)を焦点化し、③互いに尊重し関係構築に努めて、双方の意思決定を支援、④双方の視点から繰り返し検討すること、⑤情報共有・相互理解によって協働意思決定の対話ができ、存在の認め合いができること、建設的で癒されるとの好評を得た。社会共創として、AIを活用する協働対話の英語論文も執筆した。また、倫理メディエーションとして毎月論文で、ハラスメントや幸福論など執筆し、それを題材に20代を交えて対話討議した。今後も継続的に、本会を継続して、倫理的検討のできる人材育成教育の概念として普及し、産学連携への道へつなげたい。	

(裏面あり)

実施スケジュール	≪スケジュール≫ 上記のMediation Café♪の会の他、山形県医療ADR学術研究会の会を開催し、2024年4月18日（木）、5月16日（木）、6月13日（木）、7月25日（木）、8月15日（木）、9月18日（木）、10月17日（木）、11月21日（木）、12月13日（筋）、1月16日（金）、3月13日（木）の11回は、各回18時～20時30分の時間枠で、医療者との医療紛争事例、患者の声を聴く、医療者の思いを語る事例検討会を開催し、毎回80名以上の参加があった。4月19日（木）、5月20日（月）、6月10日（月）、7月31日（水）、8月17日（土）、9月21日（土）、10月30日（水）、11月29日（金）、12月29日（土）、2025年1月11日（土）、2月8日（土）、3月29日（土）の12回、東北地方だけではなく希望者を対象に、Web オンライン開催で協働対話の会を開催した。						
支援金の用途報告	合計	100,000					円
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	物品調達	書籍代（参考図書・資料）	14	×	定各項目参	=	26435円
	旅費	参加費（酒田市修復的対話(RJサークル)	1	×	26,400	=	26,400
	物品調達	文房具（研修用）	1式	×	1,150	=	1150円
	その他	ホームページ保守	1	×	40,000	=	40000円
	物品調達	参加費（酒田市修復的対話(RJサークル)	5	×	6,015	=	6015円
次年度の計画について	筆者は、日本医療機能評価機構の医療対話推進教育構築・人材育成の診療報酬獲得の実績を持ち、その人材育成を、全国で医療メディエーション概念を普及教育研究しつつ、15年間、山形大学医学部を中心として山形県内で展開してきました。次年度は、もっと共創の理解が深まるように、医療者・非医療者を超えて、パワーハラスメントへの対話による平和解決、魅力的な共創社会を考える会、患者さんの思いを理解する医療者・患者間の対話の会、いじめの加害者・被害者の対話の会、倫理と安全を考える対話の会、法と倫理などを毎月開催します。多様性と多価値を認めあえる未来の山形県をめざして、市民の共創意識を高め、協働対話概念を広める実践活動をしていきます。						
本事業へのご意見・要望	医療界で診療報酬のついた医療対話推進教育の創始者として、もっと対話教育を推進していきたいです。そのためには、経済界や行政機関など関係機関との連携が必要です。天候不順で世界に戦禍がある現在こそ、人と人をつなぐ価値尊重の社会共創やSDGsの考え方が不可欠です。承認し合い、価値を創る対話の取り組みとして、数年間の継続的な支援を何卒宜しくお願い申し上げます。						
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。	山形県医師会（ https://www.yamagata.med.or.jp/ ）と山形県医療ADR学術研究会（ https://www.adr-yamagata.com/ ）と医療メディエーションによる協働対話の会 Mediation Café♪のHP https://www.mediatin-cafe.com/ 酒田市公益活動団体、山形県酒田市役所						

| この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyouyou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp